

～がんサポートセミナー通信～

2月のセミナーは「栄養について」でした

<講師紹介> 外科医
多々先生



管理栄養士
今井さん



<セミナー内容の紹介>

1、栄養サポートチームの紹介

- 入院患者さんの1～3割に栄養障害が認められます。
- 栄養状態を良くすると、病気の治療にも役立ちます。
- そのために、栄養サポートチームが活動しています。
- 多職種の専門家が、それぞれの知識・技術を生かし、一致団結して栄養管理に取り組んでいます。
- 病気の治療のためには栄養も大切であることを覚えて頂きたいです。



2、がんによる栄養障害

- がんそのものによるもの：がん→炎症→タンパク質の分解
- がん治療の副作用によるもの（食事が食べたくなくなる、口内炎や吐き気で食べられない等）
- 栄養が悪くなると・・・体力が低下して治療の継続が難しくなる、痛みが軽減しにくくなる

3、治療中の食事の工夫

<食欲不振の対策>

- 食べやすいもの
- 目覚めの一杯の水
- 食べたい時に食べられるよう準備
- 食べやすく、たんぱく質の多い物



<口内炎の対策>

- 食べにくい物は避ける（刺激物・熱いもの・塩味の強い物等）
- 水分と一緒に食べる
- あんかけにする
- 乾かないように水分補給



<味覚障害がある時>

- まずいと思った物は避ける
- 味の濃い物がおすすめ
- 酸味や香り、うまみを利用
- 苦味を感じたらスープやキャンディー



<栄養調整食品の利用>

試供品が沢山つきました



口から十分に摂れない時は医療が手助け
できます。ご相談ください。

